

音更町総合計画審議会会議結果（要旨）

会議名	音更町総合計画審議会 教育文化部会（第3回）
開催日時	平成27年8月20日（木） 午後7時から午後8時40分
開催場所	音更町役場2階 第1・第2委員会室
委員出席者	岡庭部会長、矢野部会長代理、大高委員、高橋委員、名内委員、藤井委員、藤川委員、堀委員、前川委員
事務局出席者	大久保教育部長、青砥教育委員会管理課長、早苗生涯学習課長、白戸文化センター館長（兼図書館長）、佐藤スポーツ課長、傳法企画財政部長、渡辺企画課長、西岡企画調整係長、清水企画調整係主任
議題・諮問内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 部会長あいさつ 2 会議の進行等について 3 議件 <ol style="list-style-type: none"> (1) 基本計画修正案について (2) 議員協議会での意見等について (3) 音更町人口ビジョンの考え方について 4 その他 <ul style="list-style-type: none"> ・次回審議会の開催日程について
会議資料	<ul style="list-style-type: none"> ・基本計画見直しシート ・総合計画審議会専門部会での意見等対応調書（教育文化部会） ・議員協議会での意見等対応調書（教育文化部会） ・音更町人口ビジョンの考え方、人口ビジョン・総合戦略の構成イメージ
会議結果	下記のとおり
出された主な意見等	<p>■基本計画修正案について</p> <p>委員：「幼児教育」の分野の「現状と課題」の1行目、「また、質の高い幼児期の学校教育や保育を受けることが望まれています。」とあるが、「学校」は要らないのでは。「学校」が入ると児童期になるのでは。</p> <p>部会長：削除する方向でよろしいか。（了承）</p> <p>委員：「義務教育」の分野で、施策「（2）義務教育内容の充実」の施策の主な内容①「チーム・ティーチングや、少人数による教育の導入に努めます」とあるが、チーム・ティーチングや少人数教育は、これから導入するものではなく、もうすでに取り組んでいるので、ここは「導入」ではなく「推進」ではないか。</p> <p>事務局：もう少し拡大したいという意味を含めて導入という言葉を使っているが、「推進します」というような表現に改めたい。</p> <p>部会長：「また、チーム・ティーチングや、少人数による教育を推進します。」でよろしいか。（了承）</p> <p>委員：今のところで「推進します」と表現するのであれば、他で「進めます」というような表現も見られるので、統一した方が良いと思う。</p> <p>部会長：事務局で一括して整理していただくという方向でよろしいか。（了承）</p> <p>委員：「高校教育、高等教育」の分野で、「高等学校」と「高校」という両方の表現があるので、統一したほうが良い。個人的には「高校」の方が良いと思う。</p> <p>部会長：事務局にお願いしたい。</p> <p>委員：「幼児教育」の分野で、施策（2）施策の主な内容の中に、「認定こども園」が出てくるが、施策で打ち出す前提として、現状と課題に提起する必要がある</p>

のではないかと思います。最近の傾向として、認定こども園のように、教育と保育の一元化を目指す傾向が顕著であり、「現状と課題」の1行目、「また、」と「質の高い」の間に、「近年、教育と保育の一元化を目指す傾向が顕著であることを鑑みて、」という文言を加え、これを受けて施策に反映される方が自然だと思いが。

部会長：表現の細かいところは事務局一任ということでお願いしたい。

■議員協議会での意見等について

※意見等なし

■音更町人口ビジョンの考え方について

委員：出生率を上げるという施策はここに出てこないのか。

事務局：人口ビジョンは、国の方からある程度作り方について方向性が示されており、これを受けてどうするのかというのは総合戦略の位置づけになる。

委員：以前、この部会で審議した中で、図書館の関係で、目標指標の蔵書数が、人口に対して1人4冊という目標は平成26年度までにすでに達成しているということで、今回、平成32年度の目標を21万冊として設定している。今回示された人口ビジョンの中の具体的な人口を考えると、21万冊の根拠について伺いたい。

事務局：図書館の本館は、蔵書の収容能力が限界に近付いている。図書の新しいものと古いもの入替え等を計画的に進めること、また、本は常に貸し出されているので、常に蔵書冊数が図書館にある状態ではなく、その辺りも考慮して、目標数値としている。

委員：安心して子どもが産める、子どもが持てる環境、つまり、産まれる前に、そもそも安心できる環境がなかったら、子どもは自然増にならないのではないかと思います。町外から就職してもらおうとか、働く人を連れてくるというのは、限られたパイを取り合うことで、出生率を1.8にするには、安心して産める、育てられる、そういった文言を付け加えてほしいと思う。この表現の中にすでに含んでいるというなら、もっと強く打ち出してほしいと思う。

事務局：今のご意見は、ごもっともだと思います。国の戦略における基本目標というのがあり、町も、総合戦略の中でこれを参考に基本目標を立てる。人口ビジョンは、あくまでも2060年に向けての目標をどれだけにするかという考え方で、そこに向けて、音更町は出生率をどのようにしていくか、社会減などを考慮して決めている。それを具体化してどのようなことをやっていくのか、どのような目標値を設けるのかといったことは総合戦略の方になるので、町が打ち出す施策も含め、9月下旬にある程度のもを提供できると思う。そこで、その内容をぜひご審議いただけたらと考えている。

部会長：総合計画では人口の目標を48,000人としている一方で、人口ビジョンでは46,270人としている。人口ビジョンによる見通しもあるが、総合計画は48,000人に向けて頑張っていきたいと思いますということよろしいか。（了承）

※次回専門部会は9月下旬、日程は改めて調整するものとした。